

大学等における修学の支援に関する法律による  
 授業料等減免の対象者の認定に関する申請書  
 (兼東京工業大学特別授業料減免制度の対象者の認定に関する申請書)

年 月 日

東京工業大学長 殿

私は、貴学に対し、大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の対象者としての認定を申請します。  
 併せて、貴学特別授業料減免制度の対象者としての認定を申請します。

申請にあたって、私は以下の事項を確認し、理解しています。

- ◆ この申請書の記載事項は事実と相違ありません。なお、申請書の記載事項に事実と相違があった場合、認定を取り消され、減免を打ち切られることがあるとともに、在学する学校から減免を受けた金額の支払を求められることがあることを承知しています。
- ◆ 授業料等減免の対象者の認定手続きにおいて、独立行政法人日本学生支援機構（以下、「機構」という。）を通じ、東京工業大学が機構の保有する私の給付奨学金に関する情報の送付を受けること、及び機構が東京工業大学の保有する私の授業料等減免等に関する情報の送付を受けることに同意します。
- ◆ 現在、他の学校において、大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免を受けておらず、当該授業料等減免の対象者の認定申請中でもありません。
- ◇ 特別授業料減免の対象者の認定手続きにおいて、別途大学が定める認定を行うために必要な情報を提供することに同意します。

※以下のすべての項目を申請者本人が記入してください。（\*を付した項目については、該当者のみ記入すること。）

申請者	フリガナ		入学年月	年 月 入学	
	氏名				
	生年月日	(西暦) 年 月 日生 ( 歳)			
	現住所	〒 都道府県 市区町村			
	所属学院・系		学籍番号		
	学 年	昼間・夜間・通信の別	<input checked="" type="checkbox"/> 昼(昼夜開講を含む) <input type="checkbox"/> 夜 <input type="checkbox"/> 通信		
	過去に本制度の支援を受けた学校名、期間(*)	(学校名)	(期間/月数)	年 月 ~ 年 月 / 月	
	過去に本制度の入学金減免を受けたことがありますか。	ある <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/>			
	<b>日本学生支援機構の給付奨学金に関する情報</b>				
	(いずれかの□に✓印を付け、右欄に該当する番号を記載してください。) ※予約採用の採用候補者は、機構からの通知のコピーを添付すること				
<input type="checkbox"/> 予約採用の申込を行った者 【給付奨学金の申込の受付番号(採用候補者となっていれば登録番号、給付奨学生となっていれば奨学生番号)】					
<input type="checkbox"/> 在学(在学予約)採用の申込を行った者 【給付奨学金の申込の受付番号(給付奨学生となっていれば奨学生番号)】					
<input type="checkbox"/> 2021年度の申込を行っていない者	(行っていない理由) <input type="checkbox"/> 進学要件が基準を満たしていないため <input type="checkbox"/> 2020年度に申込を行ったが、収入基準により不認定となったため。 <input type="checkbox"/> 上記以外(理由: )				

## 申請書の作成あたっての注意事項

- イ 大学等における修学の支援に関する法律による修学支援は、授業料等減免と給付奨学金により行うこととしております。このため、あらかじめ機構に給付奨学金の申込みを行ってください。給付奨学金の申込みがない場合、授業料等減免の申請書類審査等に一定の時間を要します。  
給付奨学金の申込みを行わず、「機構の給付奨学金に関する情報」の欄を記入できない場合は、(別紙1)の提出が必要です。更に、本学に編入学又は転学(若しくは専攻科に入学)した学生であって、編入学又は転学(若しくは専攻科に入学)する前に在学していた学校(大学、短大、高専、専門学校)が2つ以上ある場合は、あわせて(別紙2)の提出が必要です。家計急変による申込を行う場合は、あわせて別紙3の提出が必要です。(給付奨学金をあわせて申し込む(既に申し込んでいる)場合は、別紙1～3の提出は不要です。)  
なお、給付奨学金と授業料等減免の認定の要件は同一であるため、給付奨学金に申し込んだ結果、認定を受けることができなかった(給付奨学生として採用されなかった)場合は、同じ期間、授業料等減免の支援についても受けることはできません。
- ※別紙1～3の提出については、該当者に個別に連絡しますので、連絡があったら速やかにご提出ください。
- ロ 「機構の給付奨学金に関する情報」の欄について、予約採用における採用候補者は、採用候補者決定通知の受付番号を記入するとともに、採用候補者決定通知のコピーを必ず添付してください。
- ハ 過去に、大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の支援を受けたことがある場合には、当該期間の月数を申告してください。
- ニ 入学年月について、編入学又は転学等により入学した場合は、その年月を記入してください。専攻科に在学している場合は、専攻科に入学した年月を記入してください。
- ホ 申請書に記載された内容及び提出された書類の情報は、授業料等減免の認定及び本学が実施する経済支援のために利用します。また、今後の授業料等減免制度の検討のため、統計資料の作成に利用する場合がありますが、作成に際しては個人が特定できないように処理します。
- ヘ 申請にあたっては、学校から配付される冊子等をよく読み、本制度について理解したうえで行ってください。特に、次のことについて留意してください。  
① 卒業まで自動的に授業料等減免を受けられるわけではなく、半年ごとに継続願を提出する等、必要な手続きがあること  
② 定期的実施される収入・資産額等の判定により、支援額が変更となったり、支援が停止する場合があること  
③ 定期的実施される学業成績の判定により、支援が打ち切りとなったり、支援が遡って取り消される(減免が取り消されて授業料の支払いが必要となる)場合があること  
④ 本制度により授業料等減免を受ける場合、日本学生支援機構の第一種奨学金(無利子)の利用にあたって当該奨学金の貸与上限額が変更されること  
※ 本制度による給付型奨学金を受ける場合も同じように、日本学生支援機構の第一種奨学金(無利子)の利用にあたって当該奨学金の貸与上限額が変更されます。  
つまり、授業料等減免又は給付型奨学金のいずれか一方でも受ける場合は、第一種奨学金の利用にあたって貸与上限額が変更されます。  
※ 貸与上限額の詳細は日本学生支援機構のホームページや資料に記載しています。
- ト 特別授業料減免の認定は、大学等における修学の支援に関する法律による修学支援の認定後に実施します。認定のために別途提出する申請書に記載された内容及び提出された書類の情報は、授業料減免の認定及び本学が実施する経済支援のために利用します。また、今後の授業料等減免制度の検討のため、統計資料の作成に利用する場合がありますが、作成に際しては個人が特定できないように処理します。





### 【学内便】の場合

- 長形3封筒に、以下の項目を記載してください。  
Write the following items on the long envelope.
- ① メールボックス番号(: 研究室のメールボックス番号)  
Mail Box No.
- ② 指導教員氏名(: フルネームを記載すること)  
Supervisor full name
- ③ 本人氏名  
Your name
- ④ 学籍番号 (: 封筒下部に記載すること)  
Student No.

120mm

① J3-999

② 燕 明彦 研究室

③ 東工大 太郎 様

④ 学籍番号: 17B99999

### 【自宅等に郵送】の場合

- 長形3封筒に、以下の項目を記載・貼付してください。  
Write / paste the following items on the long envelope.
- ① 郵便番号  
postal code
- ② 住所 (: 結果の送付先の住所を記載)  
your address
- ③ 本人氏名  
your name
- ④ 学籍番号 (: 封筒下部に記載すること)  
Student No.
- ⑤ 84円分の切手を貼付  
84 yen stamp

120mm

⑤ ここに84円切手を貼ってください。  
Please affix a 84 yen stamp

① 1 5 2 8 5 5 0

② 東京都目黒区大岡山2-12-1

③ 東工大 太郎 様

④ 学籍番号: 19B99999

235mm